

◆ 第54回全国高等学校弓道大会

2009近畿まほろば総体

優勝おめでとう！！

橿原高校（男子団体） 全国制覇！！



7月28日から31日に橿原公苑第一体育館特設弓道場に於いて上記大会（インターハイ）が行われました。多目的広場への仮設練習会場の設置工事は21日より、第一体育館への特設弓道場の設置工事は22日より始まりしました。24日に工事は完成し、25日に式典・競技のリハーサル、26・27日に公開練習・諸会議、28日に総合開会式・弓道競技開始式・矢渡しと進み競技が開始されました。29日（競技1日目）には団体・個人予選、30日（競技2日目）には団体トーナメント1回戦・個人準決勝・個人決勝・個人競技表彰式、31日（競技3日目）には団体トーナメント2回戦から決勝・納射・団体競技表彰式・閉会式を行い橿原高校男子団体優勝及び技能優秀校に選ばれるという快挙と共に競技は無事終了しました。（高塚）

▽団体 女子

橿原高校 予選 通過、トーナメント1回戦 敗退
高田商業 予選 敗退

▽団体 男子

畝傍高校 予選 敗退
橿原高校 予選通過、トーナメントを勝ち抜き優勝

▽個人 女子

予選通過： 弥富 衿菜（高田商業）福西 真歩（橿原）吉田 理映子（高田商業）いずれも準決勝で敗退

▽個人 男子：

予選通過： 竹森 健吾（法隆寺国際）漆畑 将大（西の京）いずれも決勝射詰めに残るも順位つかず



No. 7

まほろばインターハイが成功裏に終わりました。審判長席の一番良いところで大会を一部始終見せていただきました。最後の男子決勝戦は、そこに居合わせたみんなが感動したのではないのでしょうか。1射1射に打ち込む選手とそれを見守る観衆が一体となり、会場はまさに感動の渦に包まれました。そこには、勝者も敗者もなく、会場が一つになった、そんな印象を持ちました。

その光景を目の当たりにしながら、同時に、私は、会場外にいる駐車場係や練習会場にいる補助員・役員の皆さんの姿が浮かびました。そういう人たちのおかげで、この大会が成功したのだと思いました。

インターハイ 大成功 ありがとうございます。
会長 吉本清信

■ 総合体育大会（弓道）を終えて

奈良県高体連弓道部 副部長 土谷尚敬

仕事の関係から、インターハイに関わりました。補助員の活躍、個人決勝射詰め、橿原高校男子の優勝、県内出場選手の頑張りに興奮しながら成功裏に終了することができました。これら生徒の頑張り、と、生徒をご指導



いただいた先生方、子ども達を支えていただいた保護者の皆さん、奈良県弓道連盟の皆さん、奈良県実行委員会の皆さん、

その他関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。今後も、高体連弓道部へのご支援お願いすると共に、奈良県弓道連盟のますますの発展を祈念します。



■ 全国高校総体弓道競技に携わって

(総務部長 藤村佳照)

平成21年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会第54回全国高等学校弓道大会が無事終了いたしました。大会運営にご協力をいただいた皆様方に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

思い返せば、平成17年度に正式に弓道競技が奈良県で開催されることが決まりました。翌年の51回大会は、大阪府の門真市「なみはやドーム」で行われました。奈良県からも役員として数名の教員が参加しましたが、施設の巨大さにただ驚くばかりで、「これを奈良県のどこに持ってくればいいのか？」と悩んだものです。

平成19年度から実行委員会に入り、いよいよ大会運営のための業務が始まりました。役員配置、それに合わせた補助員の人数調査。大会会場の設定。限られた施設・限られた人数・限られた予算 制約が多い中どのように工夫をすればよりよい大会が運営できるのか、日々悩みながら業務をしてきたように思います。20年度から川本先生が実行委員会に来てくれ、二人で業務を行ってきました。当初考えていたことがうまくいかず、「こんなことで、大会が実施できるのか？」と悩む日々が続きましたが、大西委員長を中心とした専門部の先生方の意見や考えをいただき、難局をいくつも乗り越えることができました。

そして7月22日、世間では、日食が話題となった日から準備が始まりました。26日からの公開練習に間に合わせるための突貫工事、あわただしく準備を進め25日のリハーサルまでには、おおむね会場の概要ができました。準備を進めていく中で予測しなかったことへの対応に追われ、行き詰まったこともありますが、総務部の役員・補助員が一丸となって業務を行ったため、様々な問題点に対応することができました。

大会期間を通して、「奈良県の補助員は爽やかだ。」「補助員の仕事ぶりに感動した。」「朝、会場に来ると補助員が元気にあいさつをしてくれるので気持ちよかった。」と言うような声をたくさん聞きました。また、大会終了後も各方面から奈良大会での補助員の活躍を讃えるお手紙・お電話を数多くいただきました。そして、橿原高校の男子団体優勝という最高のプレゼントをもらって終了した大会。本当に、高校生の持つ無限のパワーに驚かされ、高校生が主役を務めてくれた大会でありました。今改めて、この仕事に携わることができて良かったと実感しております。様々な人と出会い、様々な人に助けられた「近畿まほろば総体 弓道競技」数多くの感動をありがとう。

■ 的前審判として (眞鍋 征史)

県連からの前審判の一員として高校総体の弓道大会に参加しました。各県の代表として参加する選手の競技レベルはさすがが高く、1射の的中・はずれが勝負分かれ目。的前審判は、「一番、大三、引分け」との高校生の審判補助員の声を耳に、ひたすら(一番)的を凝視、36cmの震的に吸い込まれるような的中、あるいは、的枠ぎりぎりのはずれ。判定表示の後ほっと一息をつく間もなく、「二番、大三、引分け」の声に(2番)的を凝視……、2日間のリハーサルを含め、眼と気を遣う結構ハードな役目でした。

観戦では、的中の高さに目を見張るものがあり、団体戦での橿原高校の20射19中や、個人優勝した内海選手(埼玉)の射詰めを含めた24射皆中は本当に見事でした。この的中は、勿論、日頃の厳しい射技練習の成果ですが、それ以上に、競技の場、射に望んでの精神力の強さと集中力の高さにあつたと感じます。静けさと緊張、そして一瞬のどよめき、この素晴らしい大会は、若者が競い成長する場、参加の選手のみならず、裏方として大会を支えた多くの高校生たちも等しく、大きな達成感と共に明日への手応えを得たのではないのでしょうか？

この大会は、遠い昔に高校生であった私自身にも、どこかに置き忘れた若き日の情熱と感動を思い出させてくれたようです。明日から、若き日に戻って弓を引こう！と。

■ 的前管理として (井戸上 博一)

近畿まほろば総体弓道競技が成功裏に終了した今、ご協力いただいた皆様方にこの場を借りて深く感謝します。私の担当した的前管理係(矢取り、看的、校名表示など)では48名の高校生の補助員と学生ボランティアを中心に中体連、奈弓連から応援いただいた役員14名の皆様には、毎日4時間(2交代制)ぶっ続けの激務をこなしていただきました。体育館内という普段とは異なる環境、なかなか矢が抜けてくれないウレタンの安土、初めて体験する全国大会運営のプレッシャー、補助員の中には4月から弓道を始めたばかりの新入部員もおり、学生ボランティアは定期考査の日程を縫いながらの参加で、1人でも欠席者が出れば業務に支障のどるぎりぎりの体制の中、何とか競技を成功させたいという皆の願いが団結を生み、結果的にノーミスで競技を終えることができました。

準備から競技本番まで10日に及ぶ期間中、ずっとウレタンの安土周辺に居て、他の部署の様子など一切目にする暇もありませんでしたが、過去において監督として参加させていただいた数々のインターハイにも増して、思い出に残る大会となりました。

第60回奈良県中学校総合体育大会

弓道の部

平成21年7月19日(日) 於：橿原公苑弓道場

☆ 団体

- 男子 ① 八木中学校B (森・小西・杉井)
② 香芝中学校A (竹岡・倉角・村岡)
③ 香芝中学校C (奥田・齋藤・田中)

- 女子 ① 橿原中学校C (平元・辻・橋本)
② 天理南中学校B (若森・喜多・吉本)
③ 天理南中学校A (上山・大塚・奥田)

☆ 個人

- 男子 ① 香芝中学校 田中 智
② 香芝中学校 村岡 尚弥
③ 白橿中学校 河本 直起

- 女子 ① 橿原中学校 辻 沙織
② 橿原中学校 橋本 未来
③ 天理南中学校 喜多 玲子

(報告者：嶋田)

■ 奈良県女子講習会

7月12日、女子講習会を橿原公苑弓道場にて開催しました。(参加者56名)

最初に深田主任講師より、基本にのっとり稽古することの大切さや、見取稽古の重要性についてのお話がありました。

一手行射の後、基本体の稽古を行いました。特に襷さばきは、手本を示しながら細かいところまで指導していただき、今まで思い込みでしていた事を直しながら繰り返し練習しました。最後には、稽古したことを生かして、一つの、持ち的射礼研修も行いました。

少しでも見逃さず勉強しようという心構えの受講生からは、当日の気温に負けない熱い視線が常に送られていました。各人得るものは大きかったと思います。また、いつもながら道場の終了時間と戦いながらの研修になったのですが、片付けまで全員一丸で終えることができました。ご指導くださいました講師の深田先生、吉岡先生、明瀬先生、本当にありがとうございました。

(女子部 辰巳 好美)

■ 的前練習場が完成

奈良県立西和清陵高校(福井修 学校長)の弓道同好会は6月1日生徒総会において部に昇格しました。これを機に練習場所の確保としてこのたび的前練習場が完成しました。同好会としての活動時には多くの方々に激励、ご支援をいただき、また、部に昇格するに当たっては特に学校長にひとかたならぬ助力をしていただきました。感謝の気持ちを忘れることなく部員と顧問が一丸となって練習に励みたいと思っています。

(弓道部顧問 平木一史)



■ 7月地連審査の結果

第222回 7月20日 橿原公苑弓道場

合格者数は1級9名、2級1名、初段29名、弐段15名、参段7名、四段は8名の受審で、松澤和美(奈良市)、村上央恵(郡山市)、坂東由香(奈良市)、蔵地隆文(奈良市)の4名が合格されました。おめでとうございます。さらなる修練を願います。

判定会議では、参段受審者で弓返りができていない者、弐段受審者で手の内が十分整っていない者、取り矢の扱いができない者(矢つがえ動作には取り矢も含まれています)等について論議となりました。

次の第223回は例年人数が多く、終了時間が遅くなりますのでその予定をお願いします。

編集子より：

奈良でのインターハイ。地元、橿原高校男子が団体優勝し、技能優秀校に選ばれるというドラマティックな展開に感激、感動させられました。その大会の様態を伝える数コマの写真を掲載させて頂きましたが、もっと綺麗にみえる写真はインターネットホームページで。